

○ 令和2年度における地方創生の取組は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつも、ふくしま創生総合戦略に基づき、人口ビジョンに掲げる目標(※)の達成に向け、4つの基本目標ごとに施策を展開した。

※令和22(2040)年に福島県総人口150万人程度の維持

基本目標1 一人ひとりが輝く社会をつくる(ひと)

■ 健康長寿ふくしま推進事業(保健福祉部)

「健康なまち(県)づくり」をより一層推進するため、健康づくりに取組む県民へのインセンティブの付与や地域・県民参加型の普及啓発事業を展開する。

実績 ・ふくしま健民カード発行：累計65,127枚(令和3年1月31日現在)

■ ふくしま創生人財育成事業(教育庁)

本県の魅力を生徒自身が発見し、郷土に対する理解を深めるとともに、生徒と自治体や企業との接点を増やして地域の課題を広く共有し、探究活動を通して人材育成につなげる。

実績 ・学校と地域の協働による取組回数：857回

令和2年度の主なコロナ対応

- ・医療・検査体制の整備
- ・医療機関における感染症受入体制強化
- ・医療従事者等への慰労金・手当金受給
- ・オンライン学習環境の整備(学校、大学等)



ふくしま創生人財育成事業「地方創生サミット」の開催

基本目標2 魅力的で安定した仕事をつくる(しごと)

■ 浜通り地域等医療・福祉機器導入モデル事業(商工労働部)

浜通り地域等において企業が開発した医療・福祉機器を高齢者福祉施設等が活用することにより、地域の医療・福祉の課題解決や、企業の販路拡大につなげる。

実績 ・改良改善支援：1件採択
・施設等への導入：12施設へ19台を導入(貸与)

■ ふくしま「林・農」連携モデル創出事業(農林水産部)

中山間地域において周年雇用ができる農業経営体を拡大し、就農者や移住者の定住を促進するため、農業と冬期間でも栽培が可能な菌床しいたけ等の林産物生産を組み合わせた営農形態のモデル実証等を行う。

実績 周年雇用者の増加数：1人

令和2年度の主なコロナ対応

- ・時短要請協力金等
- ・中小企業等への資金繰り支援
- ・コロナ対策サプライチェーン強化
- ・肉用牛経営支援



周年雇用ができる農業経営体の育成

基本目標3 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる(暮らし)

■ 地域創生総合支援事業(企画調整部)

住民主体の個性と魅力にあふれる地域づくりを推進するため、市町村・民間団体等が実施する地域活性化の取組を支援するとともに、地方振興局を中心とする出先機関が、地域の実情に応じて事業を企画・実施する。

実績 ・サポート事業採択件数：221件

■ オールふくしまECO推進プロジェクト(生活環境部)

「地球にやさしいふくしま」の実現に向けて、全県的な気運の醸成を図るとともに、県民の自発的な取組を推進する。

実績 ・みんなでエコチャレンジ参加世帯数：3,347世帯
・スマートフォン用環境アプリの開発

令和2年度の主なコロナ対応

- ・催事等への支援
- ・地域公共交通等の感染防止対策支援
- ・避難所の感染症対策強化
- ・新型コロナウイルス感染症便乗詐欺等防止対策



スマートフォン用環境アプリの開発

基本目標4 新たな人の流れをつくる(人の流れ)

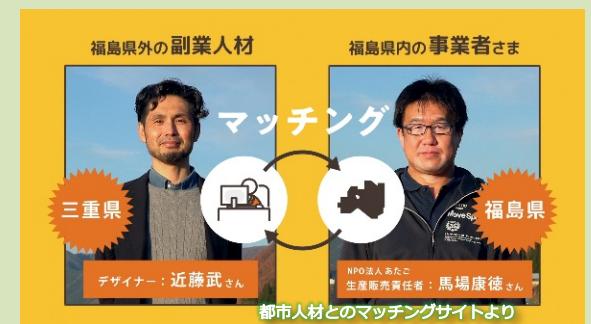
■ 都市人材とつながる。ふくしまの未来共創促進事業(企画調整部)

新たな取組にチャレンジする県内各団体等と自らのスキルをいかし課題解決に関わる首都圏等の人材をマッチングし、共創によるふくしまの未来創りを促進する。

実績 ・都市人材のエントリー数 のべ607名
・マッチング人数 のべ106名

令和2年度の主なコロナ対応

- ・リモートワークを通じた移住の促進
- ・観光周遊宿泊支援
- ・ワーケーションを通じた観光支援
- ・観光事業者等の感染症対策支援
- ・福島空港の利活用促進



都市人材とのマッチングサイトより